



2017年12月期 2Q 決算説明資料

2017年8月4日
株式会社フルキャストホールディングス (4848)

- P3 FY2017 2Q 業績サマリー
- P5 FY2017 2Q 業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正
- P9 FY2017 2Q 連結業績（2017年1月～6月）
- P12 FY2017 2Q セグメント業績 短期業務支援事業（2017年1月～6月）
- P15 FY2017 2Q セグメント業績 営業支援事業（2017年1月～6月）
- P17 FY2017 2Q セグメント業績 警備・その他事業（2017年1月～6月）
- P19 FY2017 施策の進捗及び継続的な取り組み
- P25 FY2017 業績予想進捗
- P27 FY2017 中間配当について

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、以下に記す営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 第1四半期連結会計期間において株式会社エフプレインの株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社エムズラインを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「営業支援事業」セグメントを新設しております。なお、比較対象となる前年実績がないことから、前年同期比較は行わず、実績のみを開示しております。
- 2016年12月期第3四半期連結会計期間において株式会社ディメンションポケッツの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来の「警備事業」を「警備・その他事業」にセグメント名称を変更しております。
- 連結子会社のうち、株式会社ディメンションポケッツの決算日は1月31日、株式会社エフプレイン及びその子会社の株式会社エムズラインの決算日は9月30日であります。連結財務諸表の作成にあたっては連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。なお、その他の連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」を「紹介」、「アルバイト給与管理代行」及び「マイナンバー管理代行」並びに「年末調整事務代行」を「代行」と各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上の「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

FY2017 2Q 業績サマリー

● 連結業績は、2017年12月期第2四半期連結累計期間業績予想を超過

- 短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「代行」が伸張したことを主因とし、加えて、人件費を中心に販管費率を抑制したことで、連結業績は2017年12月期第2四半期連結累計期間業績予想を、**売上高（達成率107.5%）、営業利益（同146.5%）、経常利益（同144.0%）**がそれぞれ超過した。
- 経常利益が増益したことを主因とし、加えて、第1四半期連結会計期間において、株式会社エフプレインの株式取得に伴い「段階取得に係る差益（※）」167百万円を特別利益に計上したことで、2017年12月期第2四半期連結累計期間業績予想に対し、**親会社株主に帰属する四半期純利益の達成率は167.5%**となった。

※ 「段階取得に係る差益」とは、持分法適用関連会社であった株式会社エフプレイン株式の追加取得により子会社化した際に、従来の持分を時価で見直し、時価が簿価を上回っているために発生した現金の移動を伴わない差益であります。

● 2017年12月期通期業績予想を上方修正

- 人材供給力を強化することで期末に向けて増加する顧客需要を取り込み、当第2四半期連結累計期間の業績トレンドを継続出来るものと判断し、2017年12月期通期業績予想を上方修正した。
- 通期業績予想の修正に併せて、期末配当予想を、配当予想比1円増配し、**1株あたり13円**に修正した。

FY2017 2Q 業績予想値と決算値との差異及び 通期業績予想の修正

FY2017 2Q 業績予想値と決算値との差異

- ✓ 短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「代行」が伸張したことを主因とし、加えて、人件費を中心に販管費率を抑制したことで、連結業績は2017年12月期第2四半期連結累計期間業績予想を、売上高（達成率107.5%）、営業利益（同146.5%）、経常利益（同144.0%）がそれぞれ超過した。
- ✓ 経常利益が増益したことを主因とし、加えて、第1四半期連結会計期間において、株式会社エフプレインの株式取得に伴い「段階取得に係る差益（※）」167百万円を特別利益に計上したことで、2017年12月期第2四半期連結累計期間業績予想に対し、親会社株主に帰属する四半期純利益の達成率は167.5%となった。

	(百万円)			
	FY2017 2Q	FY2017 2Q 累計予想	増減	達成率
売上高	15,394	14,323	1,071	107.5%
売上総利益	6,127	5,559	568	110.2%
営業利益	2,128	1,452	675	146.5%
経常利益	2,144	1,489	656	144.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,543	921	622	167.5%

※ 「段階取得に係る差益」とは、持分法適用関連会社であった株式会社エフプレイン株式の追加取得により子会社化した際に、従来の持分を時価で見直し、時価が簿価を上回っているために発生した現金の移動を伴わない差益であります。

FY2017 通期業績予想の修正（通期業績予想及び期末配当）

- ✓ 人材供給力を強化することで期末に向けて増加する顧客需要を取り込み、当第2四半期連結累計期間の業績トレンドを継続出来るものと判断し、2017年12月期通期業績予想を上方修正した。
- ✓ 通期業績予想の修正に併せて、期末配当予想を1円増配し、1株あたり配当額13円に修正する。

(百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高	30,000	31,300	1,300	4.3%
売上総利益	11,592	12,331	739	6.4%
営業利益	3,230	4,000	770	23.8%
経常利益	3,300	4,020	720	21.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,123	2,727	604	28.4%
一株あたり当期純利益 (円)	56.1	71.8	15.7	28.1%
期末配当予想				
1株あたり配当金 (円)	12	13	1	—
(参考)				
ROE	22.2%	27.7%	—	5.5PT
調整後当期純利益	2,391	2,991	600	25.1%
一株あたり調整後当期純利益 (円)	63.2	78.8	15.6	24.7%
調整後ROE	25.0%	30.3%	—	5.4PT

※ 「調整後当期純利益」とは、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益であります。

※ 「一株あたり調整後当期純利益 (円)」とは、調整後当期純利益を基に算定した一株あたり当期純利益であります。

※ 「調整後ROE」とは、調整後当期純利益を基に算定したROEであります。

FY2017 通期業績予想の修正（セグメント別売上高）

- ✓ 短期業務支援事業における主力サービスである、「紹介」と「代行」の伸張に注力し、修正業績予想の達成を目指す。

(百万円)

		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率
短期業務支援事業	売上高	24,956	25,961	1,006	4.0%
	紹介	4,186	4,587	401	9.6%
	代行	2,635	2,786	151	5.7%
	派遣	14,758	15,293	535	3.6%
	請負	3,377	3,296	▲81	▲2.4%
営業支援事業	売上高	3,114	3,447	333	10.7%
警備・その他事業	売上高	1,931	1,892	▲38	▲2.0%
連結	売上高	30,000	31,300	1,300	4.3%

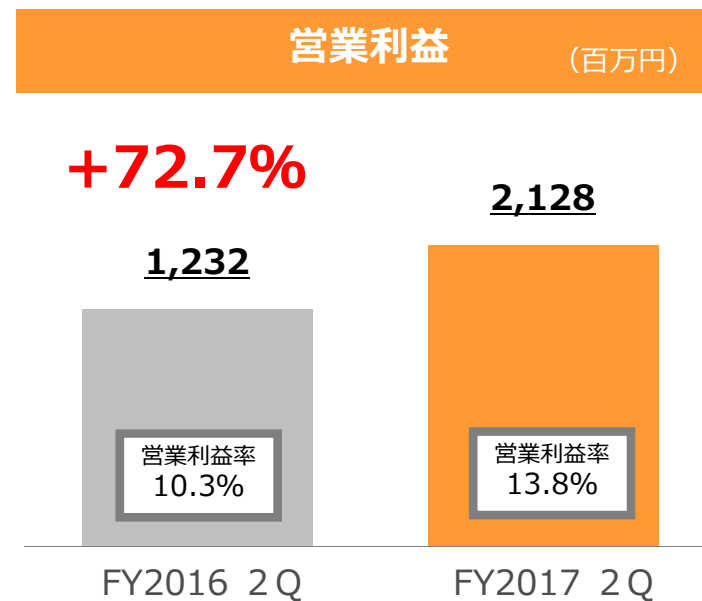
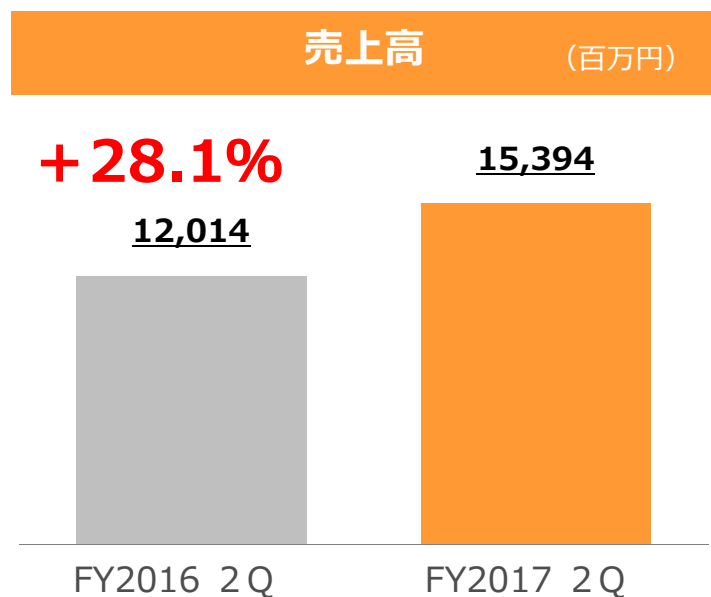
FY2017 2Q 連結業績 (2017年1月～6月)

【売上高増減要因】

- ✓ 主として、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「代行」が伸張したこと、加えて、株式会社エフプレインを連結子会社とし、同社及びその子会社である株式会社エムズラインの損益を取り込んだことにより、前年同期比**28.1%**の増収となった。

【営業利益増減要因】

- ✓ 短期業務支援事業が増収したこと及び、営業支援事業の損益を新たに取り込んだことに加えて、主として短期業務支援事業において、人件費を中心に販管費率を抑制したことにより、営業利益は前年同期比**72.7%**の増益となり、営業利益率は**3.6PT**改善した。



連結) FY2017 2Q 前年同期比較

- ✓ 株式会社エフプレインを連結子会社としたことに伴い「持分法による投資利益」が前年同期比で減少したものの、営業利益が増益したことで、経常利益は前年同期比**60.1%増**となった。
- ✓ 繰越欠損金を使い切ったことに伴い、法人税、住民税及び事業税が増加したものの、営業利益が増益したことを主因とし、加えて、第1四半期連結会計期間において、株式会社エフプレインの株式取得に伴い「段階取得に係る差益(※)」167百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比**42.8%増**となった。

	(百万円)			
	FY2016 2Q	FY2017 2Q	増減額	増減率
売上高	12,014	15,394	3,380	28.1%
売上総利益	4,354	6,127	1,773	40.7%
販管費	3,122	4,000	877	28.1%
営業利益	1,232	2,128	896	72.7%
営業利益率	10.3%	13.8%	-	3.6PT
経常利益	1,340	2,144	805	60.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,081	1,543	462	42.8%

	FY2016 2Q	FY2017 2Q	増減率
人件費1円あたり 売上総利益(円)	2.4	2.8	17.8%

- ✓ グループ全体で生産性を向上させたことにより、人件費1円あたり売上総利益は前年同期比**17.8%増の2.8円**となった。

▶ 「人件費1円あたり売上総利益」は、小数点以下第2位を四捨五入し表記しております。

※ 「段階取得に係る差益」とは、持分法適用関連会社であった株式会社エフプレイン株式の追加取得により子会社化した際に、従来の持分を時価で見直し、時価が簿価を上回っているために発生した現金の移動を伴わない差益であります。

FY2017 2Q セグメント業績

短期業務支援事業

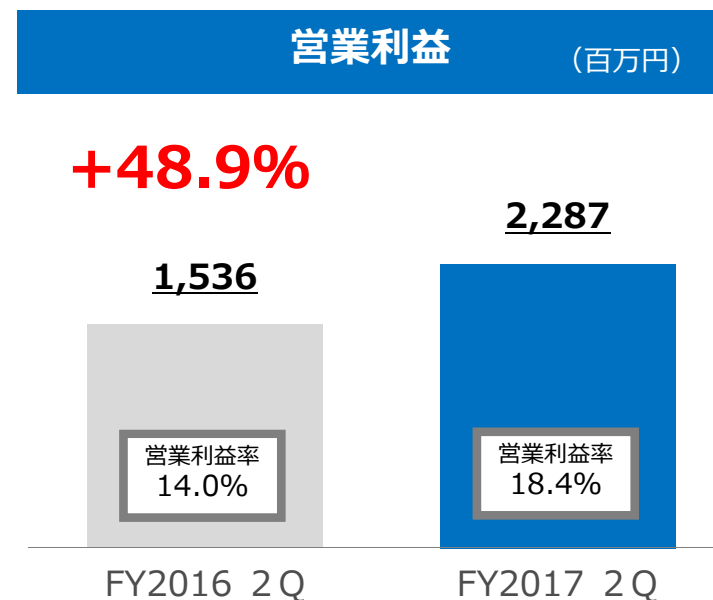
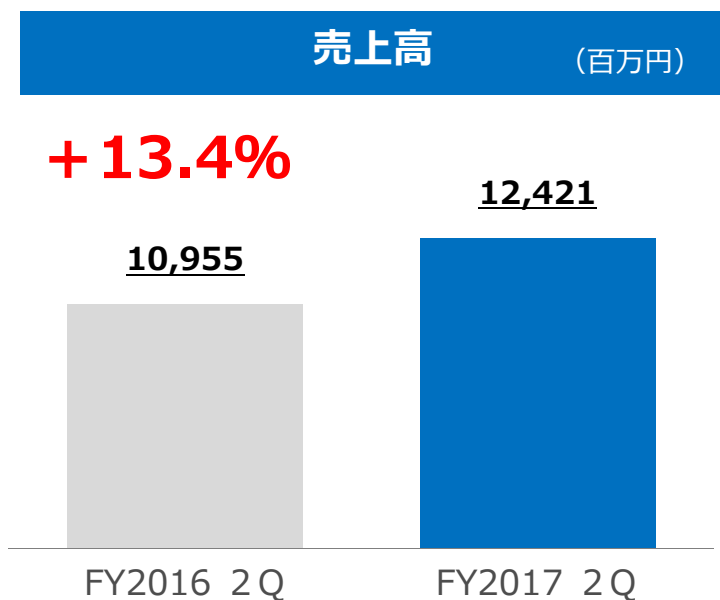
(2017年1月～6月)

【売上高増減要因】

- ✓ 取引顧客数を増加させ、旺盛な短期人材ニーズに応え得る人材供給力を確保出来たことで、主力サービスである「紹介」及び「代行」を伸張させたことにより前年同期比**13.4%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- ✓ 増収したことを主因とし、加えて、継続して実施している、日常業務の見直し等による生産性向上に対する取組みが浸透し、人件費を抑制したこと等により販管費率を抑制したことから、営業利益は前年同期比**48.9%の増益**となり、営業利益率は**4.4PT改善**した。



短期) FY2017 2Q 前年同期比較 (サービス区分別)

(百万円)

	FY2016 2Q	FY2017 2Q	増減	増減率
売上高	10,955	12,421	1,466	13.4%
紹介	1,732	2,231	499	28.8%
代行	1,169	1,384	215	18.4%
派遣	6,527	7,347	820	12.6%
請負	1,527	1,459	▲68	▲4.5%
売上総利益	4,163	5,006	843	20.2%
紹介	1,657	2,154	498	30.0%
代行	1,163	1,381	218	18.8%
派遣	1,029	1,160	131	12.7%
請負	315	311	▲4	▲1.4%

✓ 取引顧客数の増加に併せて採用人数を増加させたことで顧客企業の短期人材ニーズに応え得る人材供給力を確保し、「紹介」及び「代行」を伸張させた。

	FY16 2Q	FY17 2Q	増減	増減率
取引顧客数(社)	10,558	14,170	3,612	34.2%
新規取引顧客数(社)	1,891	3,270	1,379	72.9%

- 「代行」サービスは、「アルバイト給与管理代行」及び「マイナンバー管理代行」並びに「年末調整事務代行」を合算しております。
- 2016年12月期期末決算より「短期業務支援事業」におけるサービス区分別売上高及び売上総利益の集計方法を変更しております。前年同期実績においても2016年12月期期末決算から採用した集計方法に置き換えております。
- 第1四半期会計期間より、2017年3月1日に営業を開始した株式会社フルキャストシニアワークスの実績を含めております。
- 取引顧客数及び新規取引顧客数は、株式会社フルキャスト、株式会社トップスポット、株式会社ワークアンドスマイル、株式会社フルキャストシニアワークス及び株式会社フルキャストアドバンスの短期業務支援事業における、紹介・代行・派遣・請負の各サービス別のユニーク取引顧客数(事業所単位)を単純合算しております。
- これらの数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

FY2017 2Q セグメント業績

営業支援事業

(2017年1月～6月)

- 第1四半期連結会計期間において株式会社エフプレインの株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社エムズラインを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「営業支援事業」セグメントを新設しております。なお、比較対象となる前年実績がないことから、前年同期比較は行わず、実績のみを開示しております。
- 「営業支援事業」セグメントに属する株式会社エフプレイン及びその子会社である株式会社エムズラインの決算日は、9月30日であります。連結財務諸表の作成にあたっては連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

営業) FY2017 2Q 業績

【売上高】

- ✓ 主として、株式会社エフプレインの主たる事業内容であるインターネット回線販売業務において、繁忙期を迎えたことに加え、代理店網の拡大施策が奏功したことにより、売上高は**2,033百万円**となった。

【営業利益】

- ✓ 株式会社エフプレインの株式取得に係るのれん償却額を当該セグメントの販管費に計上しているものの、売上高が業績予想対比でも伸張したことにより、営業利益は**203百万円**となった。

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテイメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。
- 前期実績を開示していないため、2017年12月期第2四半期連結累計期間実績のみ、記載しております。

売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)

2,033



FY2017 2Q

203



FY2017 2Q

FY2017 2Q セグメント業績

警備・その他事業

(2017年1月～6月)

- 2016年12月期第3四半期連結会計期間において株式会社ディメンションポケッツの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来の「警備事業」を「警備・その他事業」にセグメント名称を変更しております。
- 「警備・その他事業」セグメントに属する株式会社ディメンションポケッツの決算日は、1月31日であります。連結財務諸表の作成にあたっては連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

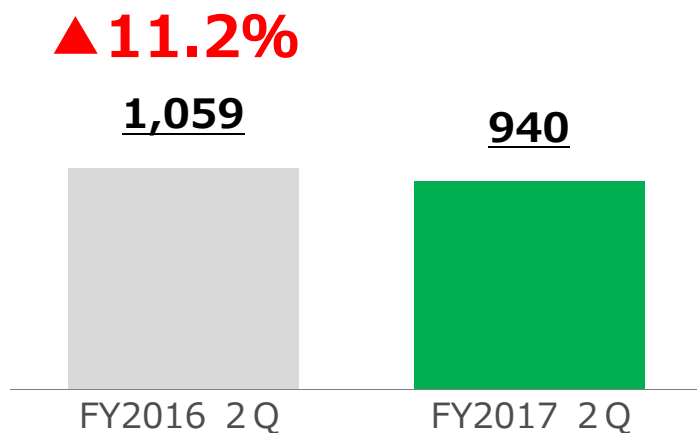
【売上高増減要因】

- ✓ 主として、臨時警備における入札案件が前期実績を割り込んだことから、前年同期比**11.2%の減収**となった。

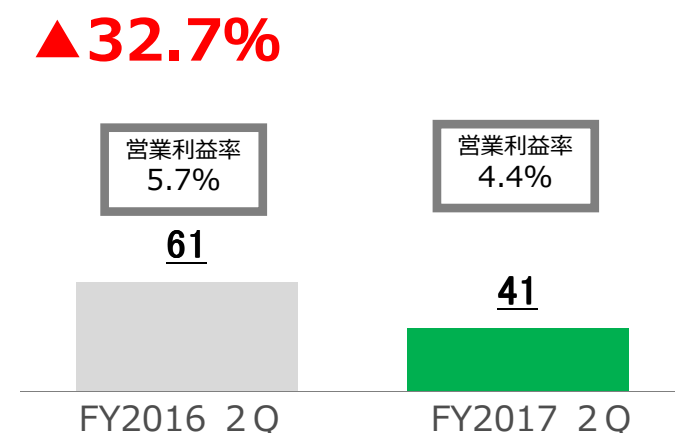
【営業利益増減要因】

- ✓ 当セグメントの主たる事業内容である「警備事業」において、人件費及び求人費を中心とした販管費抑制効果により、前年同期同等の営業利益を計上したものの、当第2四半期連結累計期間は、「その他事業」として位置づけるホテル・レストラン事業にとってのオフシーズンに該当する、2016年11月から2017年4月の期間損益を取り込んでいることを主因として、前年同期比**20百万円 (▲32.7%) の減益**となった。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



FY2017

施策の進捗及び継続的な取組み

2017年12月期 目標

● グループ総合力の展開と生産性向上による増益の実現

- ▶ グループシナジーを強化し、既存事業の深耕を図ることで、主カサービスである「紹介」及び「代行」を中心にフルキャストグループ全体の収益を伸張させ増収を果たすと共に、継続してグループ全体の業務効率化を推し進め生産性を高めることで、増益を実現させる。

2017年12月期 施策

施策① グループシナジーの強化による生産性向上

施策② 新ブランド展開及び新サービスを開始することによる事業の拡充

施策③ BPO事業の拡充

●取組 グループシナジーの強化による生産性の向上

- スタッフの多様な働き方のニーズに応えるため、当社スタッフ専用ポータルサイトを継続的に見直し、就業希望者が希望する仕事をより見つけやすくするためのアクセスルートを整備した。
- 各グループ会社に登録したスタッフに対して、就業希望者の年齢や属性、ニーズに応じたより適切なグループ会社への登録を促す活動に取り組んだ。
- 株式会社フルキャストの強みである全国の拠点網を活用し、同社が各グループ会社から登録説明会を受託する体制を整備することで、グループ全体の業務効率化を図った。



引き続き、グループ会社間でスタッフの同時登録及び求人情報の共有化の仕組みを整備、運用し、グループ全体の人材供給力の強化を図る。

施策② 新ブランド展開及び新サービスを開始することによる事業の拡充

●取組① 新ブランドである株式会社ワークアンドスマイルの事業拡充

- スタッフ採用及び営業活動におけるグループシナジーの強化を目的とし、短期業務支援事業の拡充を図るため、**営業網を関西エリアに拡大し**、関西営業課を設立した。

●取組② 株式会社フルキャストシニアワークスの営業開始

- シニア層の就業支援を通して、潜在的な労働力を顕在化し、顧客企業へ提供することで短期業務支援事業の拡充を図ることを目的とし、首都圏を中心に**2017年3月1日より営業を開始した**。

●取組③ 株式会社エフプレインの連結子会社化

- 2017年1月26日付で持分法適用関連会社（2016年12月31日現在、議決権所有割合：23.8%）である株式会社エフプレインの株式を取得し連結子会社（議決権所有割合：78.2%）とした。
- 同社が主業としているコールセンター事業等は、当社グループの主業である短期業務支援事業における人材サービスやBPO 関連サービスとの親和性が高く、強固な資本関係のもと今後の成長戦略の強化、双方の経営資源の円滑な相互活用、一層の経営基盤の安定化及び今後の収益拡大を目指す。

●取組④ 株式会社フルキャストポーターの設立

FULLCAST PORTER
フルキャストポーター

商号：株式会社フルキャストポーター
資本金：8,000万円
事業内容：ドライバー派遣



人材難が顕著であるドライバーに特化した人材サービスを提供することを目的として株式会社フルキャストポーターを**2017年3月7日に設立し、首都圏を中心に2017年7月1日より営業を開始した**。

●取組① 「マイナンバー管理代行」サービスのブラッシュアップ

- サービス開始初年度であった2016年12月期と比較し、クライアントニーズがマイナンバーの「収集」から「保守・管理」にシフトした。
- 顧客満足度向上に向けて、サービスをブラッシュアップし、付加価値の高いサービスを提供したことにより、高い契約継続率（98%）を維持できた。

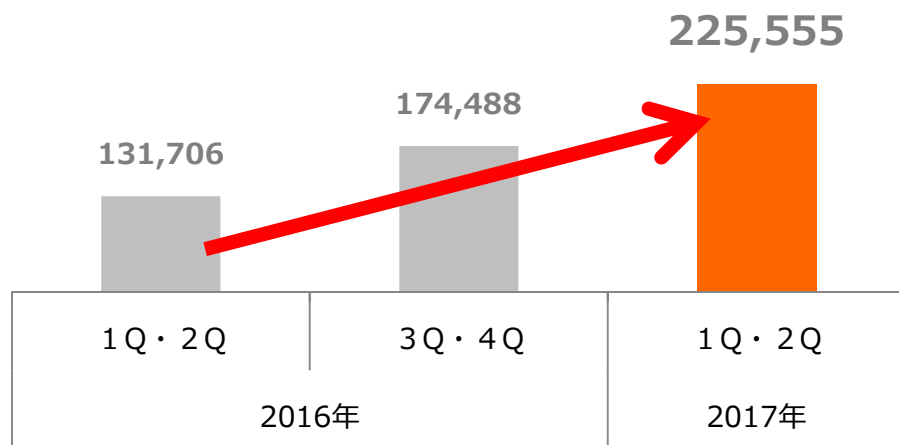
●取組② 「年末調整事務代行」サービスに係る収益の計上

- 2016年10月より開始した「年末調整事務代行」サービスの収益を今期2017年12月上旬に計上した。
- 2017年12月期下期は、2018年12月期のさらなる収益拡大に向けて、営業活動に取り組む。



「給与管理代行」及び「マイナンバー管理代行」並びに「年末調整代行」のBPOサービスメニューを継続して提供していく中で、新たなサービスである「従業員ペイロール」サービスの提供に向けた準備を行い、BPO事業の拡充に取り組む。

●取組① 採用力の強化



✓ 求人費の投資配分の見直しやSEO対策により、主として、WEB登録サービスにおける採用効率を改善できたことで、採用人数は前年同期比で**71.3%増**となる**225,555人**を採用した。

➤ 採用人数は、株式会社フルキャスト、株式会社トップスポット、株式会社ワークアンドスマイル及び株式会社フルキャストシニアワークス並びに株式会社フルキャストアドバンスの短期業務支援事業における採用人数を合算しております。

●取組② 稼働者数の増加

	FY2016 2Q	FY2017 2Q	増加数	増加率
稼働者数	109,623	137,144	27,521	25.1%

✓ 稼働促進活動に取り組んだ結果、稼働者数は**137,144人**となった。

➤ 稼働者数は、株式会社フルキャスト、株式会社トップスポット、株式会社ワークアンドスマイル及び株式会社フルキャストシニアワークス並びに株式会社フルキャストアドバンスの短期業務支援事業における、代行を除くサービスに就業したユニーク人数です。

●取組③ 新規出店

➤ 相応の市場規模が見込まれる中規模都市へ営業拠点を6拠点出店した。下期は10拠点の出店を予定している。

●上期出店

【株式会社フルキャスト】
彦根 (2/1)、大分 (2/1)、富山 (2/6)、青森 (2/13)
【株式会社ワークアンドスマイル】
関西 (2/1)
【株式会社フルキャストシニアワークス】
本社 (上野) (3/1)

●下期出店予定

【株式会社フルキャスト】
福島 (9/1)、佐久・軽井沢 (9/1)、和歌山 (9/1)、
徳島 (9/1)、長崎 (9/1)、成田 (9/15)
【株式会社トップスポット】
静岡 (7/25)、福岡 (8/1)、神戸 (9/1)
【株式会社フルキャストポーター】
本社 (新宿) (7/1)

FY2017

業績予想進捗

FY2017 業績予想進捗

- ✓ 第2四半期連結累計期間実績の修正業績予想に対する進捗率は売上高49.2%、営業利益53.2%、経常利益53.3%、親会社株主に帰属する四半期純利益56.6%である。
- ✓ 引き続き、人材供給力を強化し、期末に向けて増加する顧客需要を取り込むことにより、修正業績予想の達成を目指す。
- ✓ 短期業務支援事業における主力サービスである、「紹介」及び「代行」は修正業績予想に対して、「紹介」48.6%、「代行」49.7%で進捗している。

(百万円)

		FY2017 2Q	FY2017 通期予想 (修正業績予想)	進捗率
売上高		15,394	31,300	49.2%
売上総利益		6,127	12,331	49.7%
営業利益		2,128	4,000	53.2%
経常利益		2,144	4,020	53.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,543	2,727	56.6%
短期業務支援事業	売上高	12,421	25,961	47.8%
	紹介	2,231	4,587	48.6%
	代行	1,384	2,786	49.7%
	派遣	7,347	15,293	48.0%
	請負	1,459	3,296	44.3%
営業支援事業	売上高	2,033	3,447	59.0%
警備・その他事業	売上高	940	1,892	49.7%

FY2017 中間配当について

✓ 2017年8月4日の取締役会において、配当予想通りの**1株あたり12円**の剰余金の配当を決議した。

	決定額	直近の配当予想 (2017年2月10日公表)	前期実績 (2016年12月期中間配当)
基準日	2017年6月30日	同左	2016年6月30日
分配可能額	2,710百万円	-	-
1株あたり配当金	12円	12円	10円
配当金の総額	455百万円	-	383百万円
効力発生日	2017年9月4日	-	2016年9月5日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

通期業績予想の修正に併せて期末配当予想を、配当予想比1円増配、且つ通期では前期比4円増配となる、**1株あたり13円**に修正した。引き続き、調整後当期純利益(※)に対するROE20%以上を実現するため、調整後当期純利益に対する総還元性向50%の目標を堅持し、株主に対する利益還元を行う方針である。

※ 「調整後当期純利益」とは、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益であります。当社では、「調整後当期純利益」を総還元性向及びROE算出の基礎として使用しております。

■ 資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- ✓ 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元の目標を調整後当期純利益(※)に対する総還元性向50%としております。
- ✓ 調整後当期純利益に対するROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- ✓ 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上限0.5倍としております。

※ 「調整後当期純利益」とは、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益であります。当社では、「調整後当期純利益」を総還元性向及びROE算出の基礎として使用しております。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。



米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：1ADR = 原株1株
米国証券コード（CUSIP）：35968P100

Symbol：FULCY
預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.

TEL：(212) 815-2077

U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)

Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR課：03 - 4530 - 4830
URL：<http://www.fullcastholdings.co.jp/ir>
Email：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。